

鹿 嶋 市 財 政 事 情 書

平成 2 1 年 度 (下 半 期)

目 次

	項
1 鹿嶋市財政の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 平成 2 1 年度鹿嶋市一般会計・特別会計（下半期）収支状況・・・・・・	2
3 市債及び一時借入金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
4 財産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
5 平成 2 1 年度鹿嶋市水道事業報告書・・・・・・・・・・・・・・・・	16
6 平成 2 1 年度鹿嶋市大野区域水道事業報告書・・・・・・・・・・・・	20

平成 2 2 年 3 月 3 1 日 現 在
人 口 6 5 , 8 9 4 人
世 帯 数 2 5 , 7 5 5 戸
(常 住 人 口)

1 鹿嶋市財政の概要

当市の財政状況は、歳入においては、世界同時不況による企業の収益悪化により、法人市民税が大幅に減少したことに加え、地方交付税は合併特例に係る段階的な縮減などにより減少するなど、市の一般財源は前年度当初予算を大きく下回るものとなりました。

一方、歳出においては、行財政改革の推進による、人件費をはじめとする経常経費の抑制策を講じているものの、扶助費の増や教育施設をはじめとする公共施設の耐震改修や老朽化対策など普通建設事業費が大幅増になるなど、今後の財政運営は厳しさを増していくと予測しています。

こうした状況下において、当市では、財政の健全性を確保し、施策の充実を図るため、「新鹿嶋市総合計画」や「行財政改革行動計画」に基づき、前例や慣習にとらわれることなく既定の事業を見直し、限られた財源を市民が真に求める事業に重点配分しています。

「新鹿嶋市総合計画」に掲げるまちづくりの目標の実現に向け、平成21年度は以下の事業を重点施策とし、推進しました。

(1) スポーツ先進のまち

社会体育振興事業(19,398千円)、スポーツセンター等維持補修費(11,967千円)

(2) 世界に羽ばたく人づくりを進めるまち

平井小学校大規模改造事業(307,415千円)、英語指導事業経費(108,870千円)

大野まちづくりセンター・大野出張所整備事業(326,464千円)

(3) 健康で安心、快適に暮らせる福祉のまち

国民健康保険特別会計繰出金(460,111千円)、大野環境整備特別対策事業2期(200,485千円)

特別保育・保育サービス支援事業(103,436千円)、災害対策経費(32,669千円)

3. 3. 11街路整備事業(124,507千円)

(4) みんなが誇れる美しいまち

環境ボランティア推進事業(2,539千円)、緑化推進事業(10,247千円)

平地林保全対策費(3,923千円)

(5) 交流がつくる魅力と活力のある新しい産業のまち

観光行事費(14,737千円)、産地形成促進事業(16,411千円)

(6) 行政のスリム化と市民がつくるまち

電子市役所推進事業(32,178千円)

公民館(地区まちづくりセンター)活動費(15,584千円)

当市の予算は、一般会計、特別会計及び水道事業会計から成り立っており、平成21年度下半期における各会計の概要、収支状況については、後記のとおりとなります。

2 平成21年度鹿嶋市一般会計・特別会計（下半期）収支状況（平成22年3月31日現在）

（1）一般会計予算

一般会計予算には行政運営の基本的な経費が中心として計上されており、予算の本体をなすものです。

鹿嶋市の平成21年度一般会計予算は、当初21,358,000千円（対前年比0.2%減）でスタートしましたが、その後7回の補正を組み、3月末現在では23,197,399千円となっています。

財政規模、収支状況については、次のとおりです。

ア 財政規模の推移（当初予算）

一般会計当初予算の財政規模は、平成15年度までは、景気低迷による市税の減収に伴い縮小傾向にありましたが、平成16年度以降は、景気回復を背景に増加傾向となっていました。

しかし、2008年の世界金融危機に端を発する戦後最大の世界同時不況の影響から、平成21年度以降の市税収入の大幅減が見込まれたため、平成21年度当初予算は、今後の歳入減に耐えうる財政基盤の確立と同時に、真に行政が担うべき施策の厳選を旨とした予算編成を行いました。

平成21年度においては、国の経済危機対策に基づく臨時交付金の活用により、小中学校の耐震化事業の追加補正を行ったため最終予算規模は前年度を上回るものとなりました。

<年度別当初予算財政規模>

（単位：千円、%）

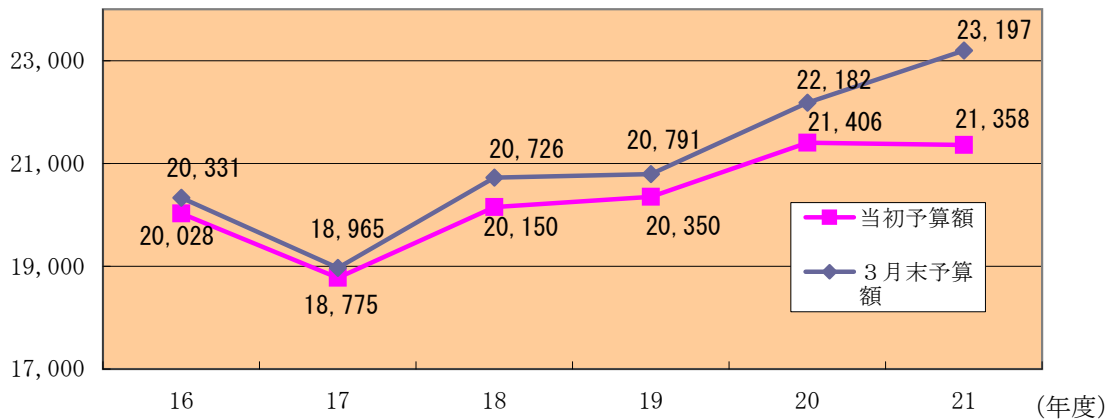
年 度	当初予算額	伸び率	3月末予算額	伸び率
平成16年度	20,028,000 (18,930,000)	12.19% (6.04%)	20,330,833 (19,232,833)	12.39% (6.32%)
平成17年度	18,775,000	△6.26%	18,964,943	△6.72%
平成18年度	20,150,000	7.32%	20,725,700	9.28%
平成19年度	20,350,000	0.99%	20,791,192	0.32%
平成20年度	21,406,000	5.19%	22,181,641	6.69%
平成21年度	21,358,000	△0.22%	23,197,399	4.58%

※（）内は借換え分（H16：1,098,000千円）を除いた場合。

（予算額）

<財政規模の推移>

（単位：百万円）



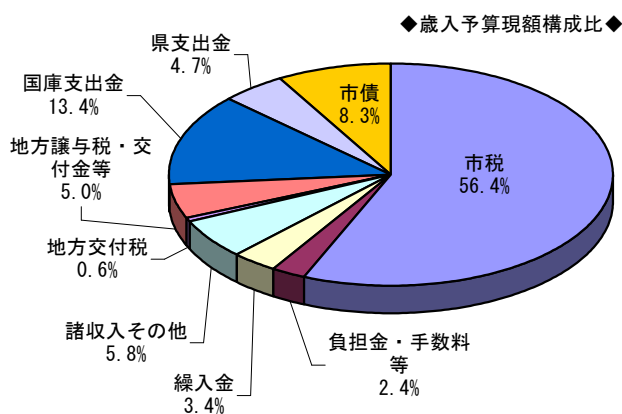
イ 歳入

<歳入予算の内訳>

一般会計の歳入予算は、市税が13,093百万円で56.4%を占めており、次いで国庫支出金3,117百万円(13.4%)、市債1,927百万円(8.3%)、県支出金1,089百万円(4.7%)、繰入金785百万円(3.4%)となっています。

(単位：千円，%)

区 分	3月末現計予算額	構成比	3月末収入済額	収入割合
市 税	13,093,566	56.4%	12,844,653	98.1%
地 方 譲 与 税	310,000	1.3%	335,839	108.3%
利 子 割 交 付 金	30,000	0.1%	27,445	91.5%
配 当 割 交 付 金	10,000	0.1%	8,825	88.3%
株式等譲渡所得割交付金	4,000	0.1%	5,100	127.5%
地方消費税交付金	580,000	2.5%	610,384	105.2%
ゴルフ場利用税交付金	13,500	0.1%	24,535	181.7%
自動車取得税交付金	90,000	0.4%	75,361	83.7%
地方特例交付金	107,424	0.4%	107,424	100.0%
地方交付税	129,926	0.5%	267,697	206.0%
交通安全対策特別交付金	11,474	0.1%	11,273	98.2%
分担金及び負担金	335,932	1.4%	304,615	90.7%
使用料及び手数料	225,759	1.0%	207,778	92.0%
国庫支出金	3,117,637	13.4%	1,429,690	45.9%
県 支 出 金	1,089,915	4.7%	457,369	42.0%
財 産 収 入	48,743	0.2%	60,717	124.6%
寄 附 金	180	0.1%	797	442.8%
繰 入 金	785,742	3.4%	764,276	97.3%
繰 越 金	632,729	2.7%	632,730	100.0%
諸 収 入	653,472	2.8%	673,782	103.1%
市 債	1,927,400	8.3%	50,000	2.6%
歳 入 合 計	23,197,399	100.0%	18,900,290	81.5%



自主財源比率 68.0%

市税，負担金・手数料等，繰入金，諸収入，その他

依存財源比率 32.0%

地方交付税，地方譲与税・交付金，国庫支出金，
県支出金，市債

ウ 歳出

歳出予算は、款別（経費の目的・機能ごと）に区分されて執行されています。
各款の予算の主な内容は、次のとおりです。

区 分	主 な 内 容
議 会 費	市議会議員の報酬, 議会の活動費, 議会事務局の運営費等
総 務 費	政策企画費, 国際交流推進費, 市民センター費, 庁舎の維持管理費, 退職手当, 徴税費, 広報費, 選挙費, 戸籍住民基本台帳費, 統計調査費, 防災対策費, 監査委員費等
民 生 費	高齢・障がい・母子などの福祉対策費, 介護保険費, 地域福祉対策費, 生活保護費, 健康増進費, 国民健康保険費, 医療給付費等
衛 生 費	保健衛生費, 予防費, 検診対策費, 母子保健対策費, 環境衛生費, 公害対策費, 保健センター費, 火葬場費, 清掃費, 塵芥・し尿処理費等
労 働 費	労働者福祉対策費, 雇用対策費等
農 林 水 産 業 費	農業委員の報酬, 農業委員会事務局の運営費, 農業振興費, 畜産業費, 土地改良事業費, 水田農業経営確立対策費, 林業振興費, 水産業振興費等
商 工 費	商工業振興費, 観光行政費等
土 木 費	道路, 河川, 海岸, 市営住宅, 下水道, 公園などの整備・管理費等
消 防 費	消防団関係経費, 消防施設の整備・管理費, 火災予防対策事業費等
教 育 費	幼稚園, 小学校, 中学校の整備・管理費, 社会教育費, 生涯学習推進事業費, 文化行政費, 青少年対策費, 公民館管理運営経費, 図書館管理運営経費, 体育振興費等
災 害 復 旧 費	災害を受けた道路, 橋りょう, 河川等の土木施設や農林水産施設等の復旧費等
公 債 費	市債の元利償還費, ミニ公募債・発行手数料等
諸 支 出 金	各種基金への積立金等
予 備 費	予算の議決後に不測の事態が生じた場合に対処するための経費

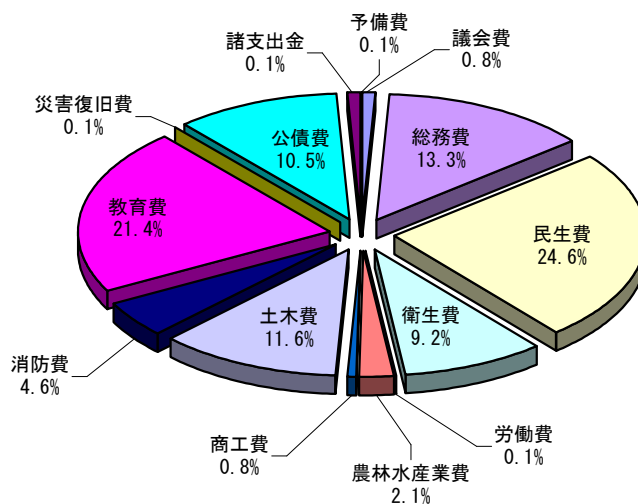
<歳出予算の内訳>

歳出予算の内訳は、以下のとおりです。最も構成比の高いのは民生費5,715百万円(24.6%)で、次いで教育費4,962百万円(21.4%)、総務費3,076百万円(13.3%)、土木費2,702百万円(11.6%)、公債費2,437百万円(10.5%)となっています。

(単位：千円, %)

区分	3月末現計予算額	構成比	3月末支出済額	支出割合
議会費	197,279	0.8%	185,115	93.8%
総務費	3,076,361	13.3%	2,563,836	83.3%
民生費	5,715,405	24.6%	5,374,157	94.0%
衛生費	2,142,253	9.2%	1,747,535	81.6%
労働費	7,508	0.1%	3,214	42.8%
農林水産業費	497,382	2.1%	434,992	87.5%
商工費	175,778	0.8%	143,580	81.7%
土木費	2,702,354	11.6%	1,941,145	71.8%
消防費	1,058,920	4.6%	1,036,728	97.9%
教育費	4,962,347	21.4%	3,369,884	67.9%
災害復旧費	8,884	0.1%	5,981	67.3%
公債費	2,436,999	10.5%	2,436,552	100.0%
諸支出金	186,903	0.8%	171,933	92.0%
予備費	29,026	0.1%	0	0.0%
歳出合計	23,197,399	100.0%	19,414,652	83.7%

◆歳出予算現額款別構成比◆



<予算の繰越し>

- 繰越明許費・・・歳出予算のうち、その性質上又は予算の成立後の事由に基づき、年度内に支出が終わらない見込みのあるものについては、予算で定め、翌年度に繰り越して使用することができます。これを繰越明許といいます。
- 継続費通次繰越・・・複数年にわたる事業において、その年度ごとの予算について、何らかの事情でその年度内に支出を終了することができない経費を、翌年度以降に繰り越して使用することを、継続費通次繰越といいます。
- 事故繰越・・・既に着手している事業について、避けがたい事故のために年度内に支出が終わらない経費を、翌年度に繰り越して使用することを、事故繰越といいます。

平成20年度予算のうち繰越明許、継続費通次繰越及び事故繰越の手続きをとったものは下記のとおりで、この予算は平成21年度に繰り越して使用します。

予算繰越明許費内訳 (20⇒21年度) (単位：千円)

款	項	事業名	予算額	3月末 支出済額
総務費	総務管理費	定額給付金給付事業	1,013,088	985,525
民生費	社会福祉費	老人医療給付経費	221	221
民生費	児童福祉費	子育て応援特別手当支給事業	35,372	33,379
商工費	商工費	観光対策事業	8,400	8,400
土木費	道路橋りょう費	その他の市道整備事業	22,596	22,390
土木費	道路橋りょう費	その他の市道整備事業(まちづくり交付金)	14,033	13,545
土木費	道路橋りょう費	0222号線市道整備事業	30,200	23,789
土木費	道路橋りょう費	5035号線市道整備事業(まちづくり交付金)	10,235	10,229
土木費	道路橋りょう費	0151号線市道整備事業	21,874	17,113
土木費	道路橋りょう費	0154号線市道整備事業	42,185	42,053
土木費	道路橋りょう費	0212号線市道整備事業	59,000	50,383
土木費	都市計画費	街並環境整備事業	4,725	4,725
土木費	都市計画費	城山公園整備事業(まちづくり交付金)	36,645	11,700
土木費	都市計画費	3.3.11街路整備事業(臨交金)	154,100	112,227
土木費	都市計画費	3.3.11街路整備事業(まちづくり交付金)	39,920	14,700
計			1,492,594	1,350,379

継続費通次繰越内訳 (20⇒21年度) (単位：千円)

款	項	事業名	予算額	3月末 支出済額
総務費	総務管理費	庁舎維持補修費	10,107	8,940
計			10,107	8,940

事故繰越内訳 (20⇒21年度) (単位：千円)

款	項	事業名	予算額	3月末 支出済額
衛生費	清掃費	リサイクルセンター整備事業	299,268	298,346
土木費	道路橋りょう費	その他の市道整備事業	19,511	19,326
土木費	道路橋りょう費	大野環境整備特別対策事業(2期工事)	8,892	8,892
土木費	都市計画費	土地区画整理事業補助金	18,000	18,000
土木費	都市計画費	3.3.11街路整備事業(まちづくり交付金)	34,221	34,221
土木費	都市計画費	3.3.11街路整備事業(単独)	21,791	18,376
計			401,683	397,161

(2) 特別会計予算

特別会計は、特定の事業を行う場合又は特定の収入をもって特定の歳出に充てる場合で、一般会計と区別して経理するものについて設けており、当市では9会計を設置しています。各会計ごとの財政規模、収支状況は次のとおりです。

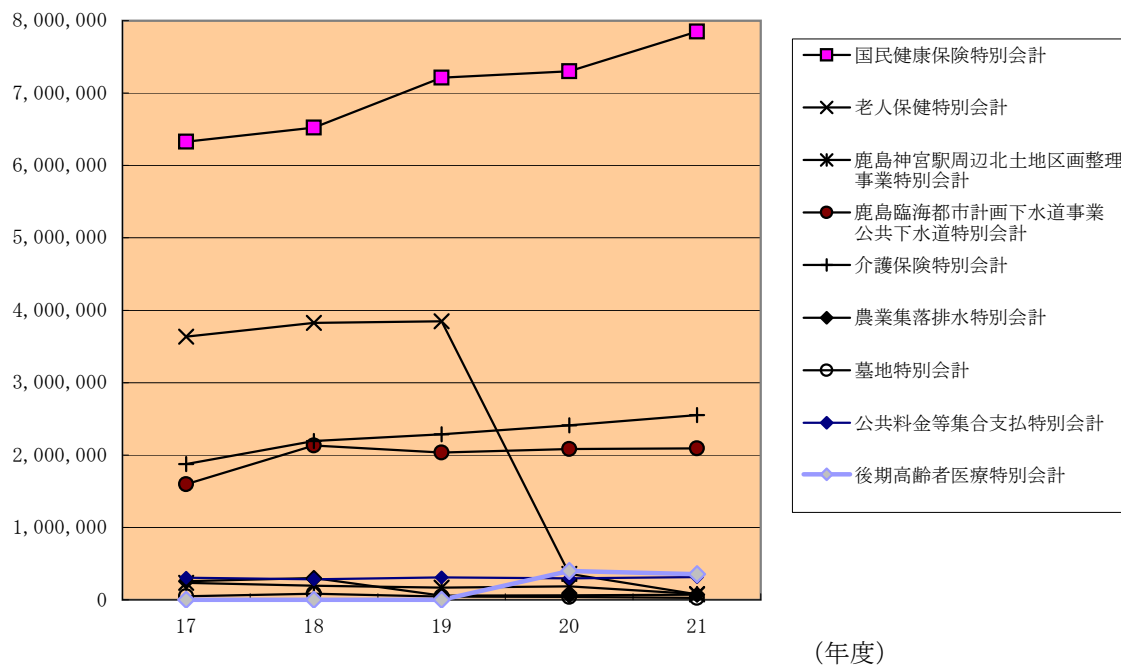
ア 財政規模の推移（当初予算）

(単位：千円)

会計	年度	17	18	19	20	21	20⇒21 伸び率
国民健康保険特別会計		6,326,795	6,524,285	7,213,703	7,299,607	7,848,108	7.5%
老人保健特別会計		3,634,070	3,825,839	3,848,075	357,238	76,511	△78.6%
後期高齢者医療特別会計		—	—	—	398,050	355,758	△10.6%
鹿島神宮駅周辺北土地区画整理 事業特別会計		232,498	195,455	169,975	185,073	80,475	△56.5%
鹿島臨海都市計画下水道事業 公共下水道特別会計		1,597,805	2,131,172	2,034,318	2,083,902	2,089,917	0.3%
介護保険特別会計		1,874,075	2,194,790	2,287,545	2,411,170	2,551,613	5.8%
農業集落排水特別会計		257,980	298,879	56,940	62,911	72,394	15.1%
墓地特別会計		50,050	83,729	44,351	40,528	25,899	△36.1%
公共料金等集合支払特別会計		303,000	282,000	310,000	298,000	315,000	5.7%
特別会計 計		14,276,273	15,536,149	15,964,907	13,136,479	13,415,675	2.1%

<特別会計財政規模（当初）の推移>

(千円)



イ 国民健康保険特別会計

国民健康保険給付事業や高額医療費支給等の事業を行うため、次の予算を計上しています。

(単位：千円，%)

歳 入 (平成22年3月末現在)				歳 出 (平成22年3月末現在)			
科目	予算現額	収入済額	収入割合	科目	予算現額	支出済額	支出割合
国民健康保険税	2,341,328	2,202,514	94.1%	総務費	63,943	47,416	74.2%
一部負担金	2	0	0.0%	保険給付費	4,977,376	4,469,317	89.8%
使用料及び手数料	2,000	1,297	64.9%	後期高齢者支援金等	1,100,874	1,100,873	100.0%
国庫支出金	2,115,291	1,833,393	86.7%	前期高齢者支援金等	3,131	3,130	100.0%
療養給付費等交付金	290,452	261,156	89.9%	老人保健拠出金	21,613	21,612	100.0%
前期高齢者交付金	1,010,754	926,525	91.7%	介護納付金	432,507	432,506	100.0%
県支出金	347,162	107,316	30.9%	共同事業拠出金	808,008	752,131	93.1%
共同事業交付金	821,044	760,955	92.7%	保健事業費	50,098	43,248	86.3%
財産収入	9	20	222.2%	積立金	9	9	100.0%
繰入金	495,112	495,111	100.0%	諸支出金	7,551	5,573	73.8%
繰越金	34,548	34,549	100.0%	予備費	10,000	0	0.0%
諸収入	17,408	34,627	198.9%				
歳入計	7,475,110	6,657,463	89.1%	歳出計	7,475,110	6,875,815	92.0%

ウ 老人保健特別会計

平成20年度に後期高齢者医療制度に移行したが、精算事務を行うため、次の予算を計上しています。

(単位：千円，%)

歳 入 (平成22年3月末現在)				歳 出 (平成22年3月末現在)			
科目	予算現額	収入済額	収入割合	科目	予算現額	支出済額	支出割合
支払基金交付金	2,585	917	35.5%	医療諸費	4,560	1,713	37.6%
国庫支出金	9,099	0	0.0%	諸支出金	25,294	23,486	92.9%
県支出金	334	0	0.0%	予備費	9,000	0	0.0%
繰入金	333	333	100.0%				
繰越金	24,250	24,250	100.0%				
諸収入	2,253	2,073	92.0%				
歳入計	38,854	27,573	71.0%	歳出計	38,854	25,199	64.9%

エ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療制度に基づく事業を行うため、次の予算を計上しています。

(単位：千円，%)

歳 入 (平成22年3月末現在)				歳 出 (平成22年3月末現在)			
科目	予算現額	収入済額	収入割合	科目	予算現額	支出済額	支出割合
後期高齢者医療保険料	270,474	263,118	97.3%	後期高齢者医療広域連合納付金	353,107	336,438	95.3%
使用料及び手数料	64	130	203.1%	諸支出金	1,513	839	55.5%
繰入金	75,917	75,917	100.0%				
諸収入	1,342	709	52.8%				
繰越金	6,823	6,823	0.0%				
歳入計	354,620	346,697	97.8%	歳出計	354,620	337,277	95.1%

オ 鹿島臨海都市計画事業鹿島神宮駅周辺北土地区画整理事業特別会計

鹿島神宮駅周辺（北部）の土地区画整理事業を行うため、次の予算を計上しています。

（単位：千円，％）

歳 入 (平成22年3月末現在)				歳 出 (平成22年3月末現在)			
科目	予算現額	収入済額	収入割合	科目	予算現額	支出済額	支出割合
分担金及び負担金	4,721	2,378	50.4%	都市計画費	85,379	5,299	6.2%
財産収入	1	0	0.0%	公債費	40	0	0.0%
繰入金	78,166	78,166	100.0%	予備費	1,000	0	0.0%
繰越金	3,531	3,531	100.0%				
歳入計	86,419	84,075	97.3%	歳出計	86,419	5,299	6.1%

カ 鹿島臨海都市計画下水道事業公共下水道特別会計

公共下水道の整備や浄化センターの管理運営等を行うため、次の予算を計上しています。

（単位：千円，％）

歳 入 (平成22年3月末現在)				歳 出 (平成22年3月末現在)			
科目	予算現額	収入済額	収入割合	科目	予算現額	支出済額	支出割合
分担金及び負担金	27,671	54,541	197.1%	総務費	150,082	111,223	74.1%
使用料及び手数料	436,916	406,416	93.0%	下水道費	1,093,590	632,749	57.9%
国庫支出金	235,550	168,050	71.3%	公債費	838,445	837,432	99.9%
県支出金	2,160	0	0.0%	予備費	5,000	0	0.0%
財産収入	462	462	100.0%				
繰入金	655,000	655,000	100.0%				
繰越金	60,334	98,356	163.0%				
諸収入	1,424	1,560	109.6%				
市債	667,600	120,000	18.0%				
歳入計	2,087,117	1,504,385	72.1%	歳出計	2,087,117	1,581,404	75.8%

※繰越予算を含む。

キ 介護保険特別会計

介護認定や介護サービス支援事業等を行うため、次の予算を計上しています。

（単位：千円，％）

歳 入 (平成22年3月末現在)				歳 出 (平成22年3月末現在)			
科目	予算現額	収入済額	収入割合	科目	予算現額	支出済額	支出割合
保険料	546,669	580,679	106.2%	総務費	38,842	32,562	83.8%
使用料及び手数料	121	146	120.7%	保険給付費	2,330,265	2,116,563	90.8%
国庫支出金	488,628	425,361	87.1%	地域支援事業費	57,670	46,860	81.3%
支払基金交付金	697,335	638,949	91.6%	積立金	64,572	64,570	100.0%
県支出金	353,690	342,541	96.8%	諸支出金	22,595	21,134	93.5%
財産収入	214	215	100.5%				
繰入金	344,846	344,845	100.0%				
繰越金	82,433	80,973	98.2%				
諸収入	8	249	3112.5%				
歳入計	2,513,944	2,413,958	96.0%	歳出計	2,513,944	2,281,689	90.8%

ク 農業集落排水特別会計

中村地区，大船津地区，爪木地区の農業集落排水施設の管理運営等を行うため，次の予算を計上しています。

(単位：千円，%)

歳 入 (平成22年3月末現在)			歳 出 (平成22年3月末現在)				
科目	予算現額	収入済額	収入割合	科目	予算現額	支出済額	支出割合
分担金及び負担金	11	822	7472.7%	農業集落排水費	38,450	15,314	39.8%
使用料及び手数料	16,437	14,897	90.6%	公債費	32,944	32,941	100.0%
県支出金	720	0	0.0%	予備費	1,000	0	0.0%
繰入金	48,573	48,573	100.0%				
繰越金	6,643	13,285	200.0%				
諸収入	10	79	790.0%				
歳入計	72,394	77,656	107.3%	歳出計	72,394	48,255	66.7%

ケ 墓地特別会計

墓地の建設，管理等を行うため，次の予算を計上しています。

(単位：千円，%)

歳 入 (平成22年3月末現在)			歳 出 (平成22年3月末現在)				
科目	予算現額	収入済額	収入割合	科目	予算現額	支出済額	支出割合
使用料及び手数料	16,498	16,503	100.0%	墓園費	2,316	1,204	52.0%
繰入金	6,500	6,500	100.0%	公債費	23,083	23,082	100.0%
繰越金	2,900	4,973	171.5%	予備費	500	0	0.0%
諸収入	1	0	0.0%				
歳入計	25,899	27,976	108.0%	歳出計	25,899	24,286	93.8%

コ 公共料金等集合支払特別会計

各施設の光熱水費や電話料等の公共料金支払を取りまとめて行うため，次の予算を計上しています。

(単位：千円，%)

歳 入 (平成22年3月末現在)			歳 出 (平成22年3月末現在)				
科目	予算現額	収入済額	収入割合	科目	予算現額	支出済額	支出割合
繰替金収入	315,000	0	0.0%	集合支払費	315,000	270,758	86.0%
歳入計	315,000	0	0.0%	歳出計	315,000	270,758	86.0%

「特別会計」予算繰越明許費内訳 (20⇒21年度)

(単位：千円)

款	項	事業名	予算額	3月末 支出済額
下水道費	下水道整備費	公共下水道整備事業 (補助)	67,270	67,270
下水道費	下水道整備費	浄化センター水処理施設整備事業 (補助)	250,000	250,000
下水道費	下水道整備費	公共下水道整備事業 (起債)	35,000	32,088
計			352,270	349,358

3 市債及び一時借入金

市では、市民福祉の増進のための各種建設事業や災害復旧事業等について市債を発行し、事業の積極的な推進を図っています。市債残高の推移及び詳細については、次表のとおりです。

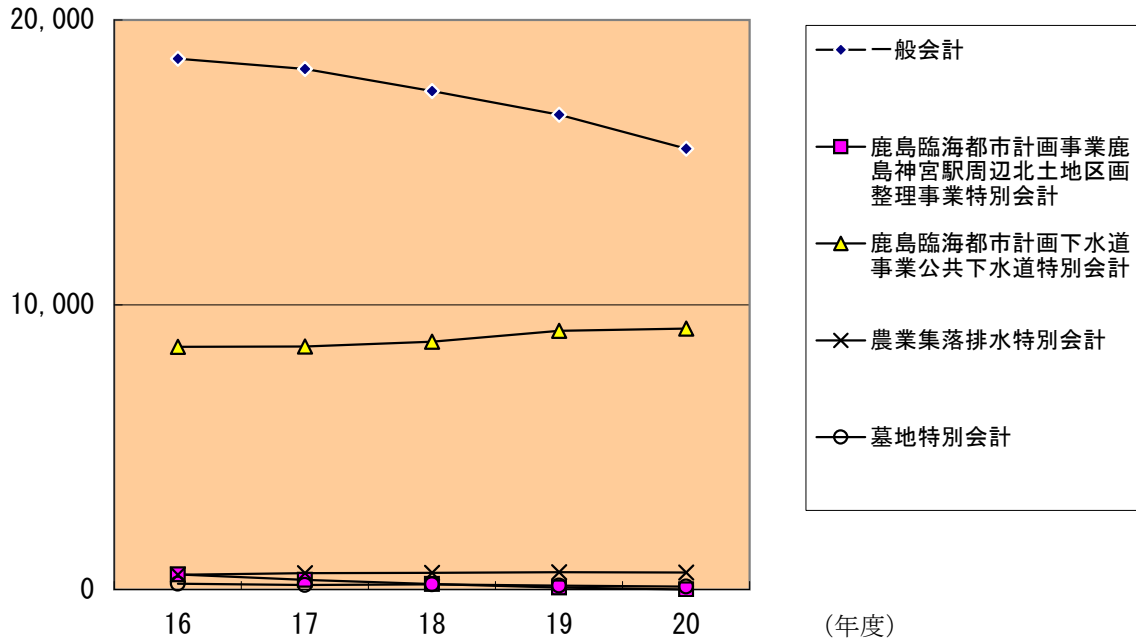
また、一時借入金は、会計年度中に一時的に収支の不均衡を生じ、歳計現金が不足した場合に、その資金の不足を補うため借り入れるものですが、これまでのところ借り入れはありません。

(1) 市債残高の推移（一般会計・特別会計、年度末残高）

(単位：百万円)

会計区分	16	17	18	19	20
一般会計	18,636	18,283	17,506	16,674	15,482
鹿島臨海都市計画事業鹿島神宮駅周辺北土地区画整理事業特別会計	532	337	187	66	0
鹿島臨海都市計画下水道事業公共下水道特別会計	8,520	8,529	8,698	9,088	9,168
農業集落排水特別会計	521	577	588	609	591
墓地特別会計	199	156	175	140	104
合計	28,408	27,882	27,154	26,577	25,345

(百万円) <会計別市債残高の推移>



(2) 市債現在高内訳 (平成22年3月31日現在)

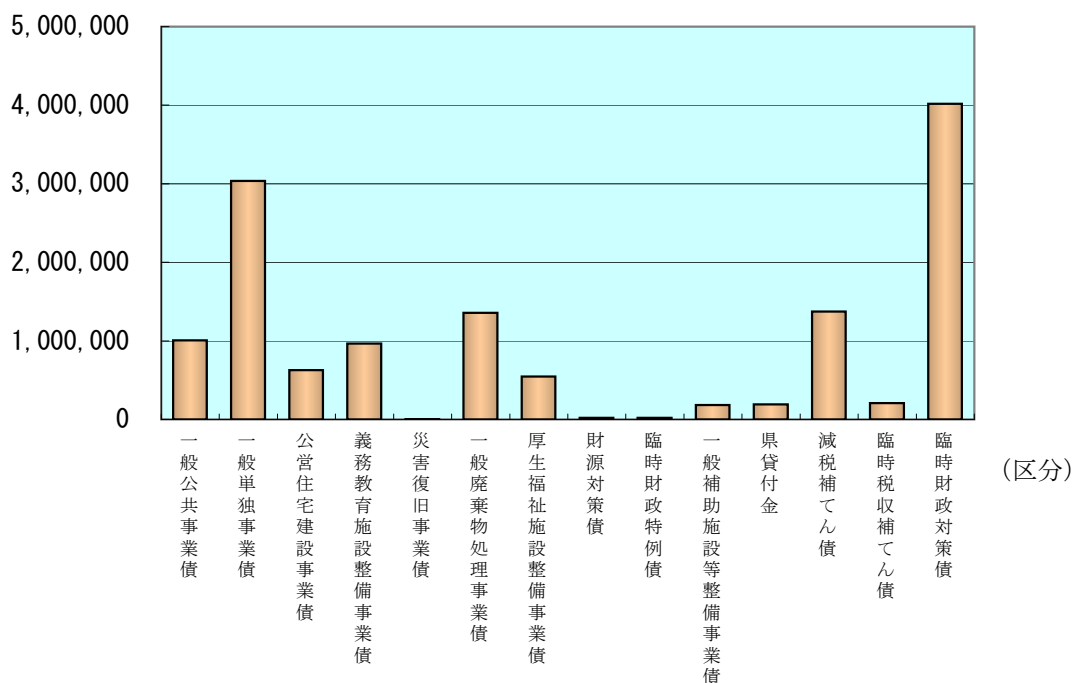
ア 一般会計

(単位：千円，%)

区 分	平成22年3月末・未償還元金	割合
一般公共事業債	1,008,144	7.4%
一般単独事業債	3,037,213	22.4%
公営住宅建設事業債	629,392	4.7%
義務教育施設整備事業債	965,511	7.1%
災害復旧事業債	3,224	0.1%
一般廃棄物処理事業債	1,357,639	10.0%
厚生福祉施設整備事業債	546,206	4.0%
財源対策債	20,100	0.2%
臨時財政特例債	18,672	0.1%
一般補助施設等整備事業債	184,646	1.4%
県貸付金	191,381	1.4%
減税補てん債	1,373,100	10.1%
臨時税収補てん債	208,437	1.5%
臨時財政対策債	4,017,925	29.6%
合計	13,561,590	100.0%

(残高 (千円))

<一般会計区別市債残高>



イ 特別会計

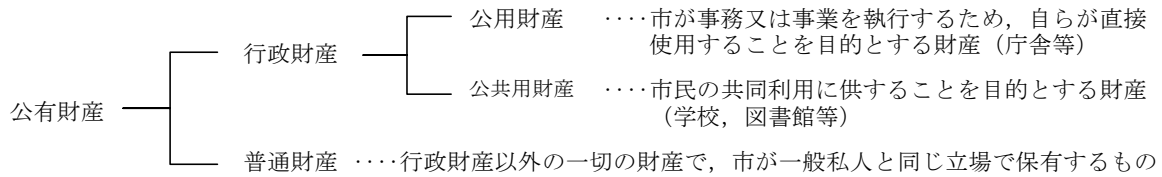
(単位：千円)

会計	区分	平成22年3月末 未償還元金
鹿島臨海都市計画下水道事業 公共下水道特別会計	公共下水道事業債	8,996,158
農業集落排水特別会計	農業集落排水事業債	570,916
墓地特別会計	墓地建設事業債	82,740
特別会計 合計		9,649,814

4 財産

(1) 公有財産

公有財産は、次のように分類されます。



これらの財産は、行政運営を円滑に行うための基礎となるものであり、その取得、管理及び処分については、条例や規則に基づき、適切な執行に努めています。

平成22年3月末現在、市が所有している公有財産の現在高は次のとおりです。

ア 土地及び建物

(単位：㎡)

区 分		土地当期末残高 (地積)	建物当期末現在高 (延面積)
公用財産	本庁舎		7,117
	消防施設		
	その他の施設	293,906	18,092
公共用財産	学校	337,792	98,149
	公営住宅	18,267	14,251
	公園	641,153	2,237
	その他の施設	423,646	57,708
普通財産	山林	116,943	
	宅地	17,070	
	田	4,603	
	畑	9,060	
	原野	33,556	
	溜池		
	保安林	1,001	
	火葬場及びへい獣捨場		
	開発一般替地	636,246	
	その他の施設	13,421	
合 計		2,546,664	197,554

※当期中における変動は、土地については、公用財産のその他の施設が141,412㎡から152,494㎡の増となっています。また、公共用財産の学校が336,800㎡から992㎡の増（売買）、公園が638,369㎡から2,784㎡の増（売買）、その他の施設が422,632㎡から1,014㎡の増となっています。そして、普通財産の開発一般替地が796,298㎡から160,052㎡の減（譲与及び所管換）、その他の施設が15,936㎡から2,515㎡の減となっています。建物については、公用財産の本庁舎が7,018㎡から99㎡の増、その他の施設が18,644㎡から552㎡の減（大野出張所）となっています。

イ 有価証券

(単位：千円)

区 分	当期末現在高
(株) 茨城計算センター	600
鹿島都市開発(株)	16,000
鹿島埠頭(株)	2,000
鹿島港湾運送(株)	10,000
(株) 鹿島アントラーズ・エフ・シー	130,000
エフエムかしま市民放送(株)	22,000
(株) 茨城県中央食肉公社	11,430
(株) かしまメティエ	3,000
合 計	195,030

※当期中における増減はありません。

ウ 出資による権利

(単位：千円)

区 分	当期末現在高
茨城県暴力追放推進センター出捐金	2,117
鹿嶋市土地開発公社出資金	5,000
茨城県国際交流協会出捐金	2,101
茨城県社会福祉事業団出資金	220
いばらき腎バンク出捐金	2,090
茨城県労働者信用基金協会出捐金	1,680
茨城県勤労者育英基金出捐金	9,730
茨城県農業信用基金協会出資金	5,010
鹿嶋市農業公社出捐金	80,000
酪農ヘルパー安定化促進事業基金出捐金	160
茨城県栽培漁業協会出捐金	550
茨城県信用保証協会寄託金	18,635
茨城県信用保証協会出捐金	44,141
茨城県中小企業振興公社出捐金	12,500
茨城県建設技術公社出捐金	80
砂防フロンティア整備推進機構出捐金	53
茨城県消防協会出捐金	640
鹿嶋市文化スポーツ振興事業団出資金	80,000
地方公共団体等金融機構出資金	3,800
合 計	268,507

※当期中における変動については、茨城県畜産協会出資金（490千円）が皆減となり、茨城県信用保証協会寄託金が、1,210千円の増となっております。

(2) 基金

基金は、特定の目的のために財産を維持し、基金を積み立て、または定額の資金を運用するため設けています。
本市では、平成22年3月31日現在で24基金を設置し、平成21年度下期残高は次表のとおりです。それぞれの基金について、法律及び条例に定められた特定の目的に応じ、確実かつ効率的な運用に努めています。

(単位：千円)

区 分	9月末残高	積立	取崩	3月末残高
鹿嶋市財政調整基金	4,489,930	7,455	520,000	3,977,385
鹿嶋市減債基金	500,588	88,629	88,000	501,217
鹿嶋市ふるさと創生事業基金	69,061	189		69,250
鹿嶋市公共施設整備基金	828,981	15,829	11,637	833,173
鹿嶋市地域福祉基金	196,286	263		196,549
鹿嶋市衛生処理施設整備基金	284,193	346	122,500	162,039
鹿嶋市教育振興基金	44,287	69		44,356
鹿嶋市神宮駅周辺土地区画整理事業基金	205	0		205
鹿嶋市公共下水道整備基金	153,648	462		154,110
鹿嶋市北浦・鰯川水門施設管理基金	15,966	18		15,984
鹿嶋市介護給付費準備基金	179,259	64,549		243,808
鹿嶋市まちづくり振興基金	68,264	50,383	55,000	63,647
鹿嶋市開発環境整備基金	52,820	74		52,894
鹿嶋市環境保全基金	32,235	5,352		37,587
鹿嶋市災害対策基金	50,000	41		50,041
鹿嶋市国民健康保険支払準備基金	35,112	9	35,000	121
鹿嶋市土地開発基金	585,508	158		585,666
鹿嶋市高塚奨学基金	352,509	127		352,636
鹿嶋市収入印紙等購買基金	2,000	3,000		5,000
鹿嶋市生活資金貸付基金	2,000			2,000
鹿嶋市母子福祉資金貸付基金	1,500			1,500
鹿嶋市高額療養費貸付基金	8,000			8,000
鹿嶋市介護従事者処遇改善臨時特例基金	25,255	21	7,517	17,759
鹿嶋市高額介護サービス費貸付基金	1,000			1,000
合 計	7,978,607	236,974	839,654	7,375,927

5 平成21年度鹿嶋市水道事業報告書

本事業は、鹿嶋町宮中地区簡易水道として創設、計画給水人口4,000人、一日最大給水量600 m³にて、昭和40年4月から供給開始した。

その後、鹿嶋開発の急速な進展に伴う人口に対処するため、昭和43年4月から計画給水人口8,000人、一日最大給水量1,200 m³とし、地方公営企業法の適用を受けて上水道に変更した。更に、施設の拡張及び整備を行うため、昭和46年4月に計画給水人口15,000人、一日最大給水量3,750 m³、昭和48年4月には、一日最大給水量7,500 m³に変更した。

そして、昭和57年4月から県営鹿嶋水道事業末端配水部門及び豊津地区簡易水道の移管を受け、給水区域を旧鹿嶋町全域として計画給水人口50,000人、一日最大給水量28,500 m³とし事業を行っている。

本年度の給水状況は、給水人口40,976人、普及率87.4%、総給水量4,928,878 m³、一日最大給水量17,371 m³である。

経営収支は、収入1,219,018千円に対して、支出は1,178,574千円で、差し引40,444千円の利益である。収入のうちの料金収入は、1,170,110千円で、前年度と比べて120,668千円の減少である。料金以外の収入は、加入金及び手数料等48,907千円である。支出は、前年度と比べて12,490千円の減少となった。

前年度末繰越利益剰余金は336,526千円であったが、本年度40,444千円の利益が生じたため、差し引未処分利益剰余金376,970千円となった。従って、剰余金処分計算書により、法定積立による減債積立金10,000千円、翌年度繰越利益剰余金366,970千円として処理するものである。

次に資本的収支における収入は、企業債120,000千円、出資金23,000千円、補助金24,027千円、負担金6,203千円である。

支出は、417,745千円で、建設改良費258,399千円、償還金137,299千円、負担金22,046千円等であり、建設改良費の主なるものは、配水管布設工事費の257,529千円等である。

なお、収支差引不足額244,515千円は、過年度分損益勘定留保資金及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんした。

財 務 諸 表

平成21年度鹿嶋市水道事業損益計算書
(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：円)

1	営 業 収 益			
	(1) 給水収益	1,170,110,409		
	(2) 受託工事収益	23,790,000		
	(3) その他の収益	22,845,834	<u>1,216,746,243</u>	
2	営 業 費 用			
	(1) 原水及び浄水費	690,503,111		
	(2) 配水及び給水費	81,429,426		
	(3) 受託工事費	0		
	(4) 総 係 費	144,442,026		
	(5) 減価償却費	169,321,199		
	(6) 資産減耗費	3,684,500	<u>1,089,380,262</u>	
	営業利益			<u>127,365,981</u>
3	営 業 外 収 益			
	(1) 受取利息及び配当金	1,962,356		
	(2) 他会計補助金	0		
	(3) 雑 収 益	309,570	<u>2,271,926</u>	
4	営 業 外 費 用			
	(1) 支 払 利 息	82,444,207		
	(2) 雑 支 出	426,437	<u>82,870,644</u>	<u>△ 80,598,718</u>
	経 常 利 益			46,767,263
5	特 別 損 失			
	(1) 過年度損益修正損		<u>6,322,982</u>	6,322,982
	当年度純利益			40,444,281
	前年度繰越利益剰余金			336,526,222
	当年度未処分利益剰余金			376,970,503

平成21年度鹿嶋市水道事業貸借対照表
 (平成22年3月31日現在)
 [資産の部]

(単位：円)

1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
ア 土地		222,259,000	
イ 建物	17,314,394		
建物減価償却累計額	<u>13,113,944</u>		4,200,450
ウ 構築物	6,491,802,190		
構築物減価償却累計額	<u>2,965,550,330</u>		3,526,251,860
エ 機械及び装置	711,615,785		
機械及び装置減価償却累計額	<u>324,818,283</u>		386,797,502
オ 車両及び運搬具	4,636,089		
車両減価償却累計額	<u>1,933,293</u>		2,702,796
カ 工具器具及び備品	56,982,599		
工具器具及び備品減価償却累計額	<u>9,115,726</u>		47,866,873
有形固定資産合計			4,190,078,481
(2) 無形固定資産			
ア 電話加入権		<u>0</u>	
無形固定資産合計			<u>0</u>
固定資産合計			<u>4,190,078,481</u>
2 流動資産			
(1) 現金・預金			
ア 現金	50,000		
イ 預金	1,010,099,869		1,010,149,869
(2) 未収金			
ア 営業未収金	95,710,688		
イ 営業外未収金	9,235,800		104,946,488
(3) 貯蔵品			12,013,647
流動資産合計			<u>1,127,110,004</u>
資産合計			<u><u>5,317,188,485</u></u>

[負債の部]

3 固定負債			
(1) その他固定負債		8,564,541	
固定負債合計			8,564,541
4 流動負債			
(1) 未払金		186,005,071	
(2) その他流動負債		<u>33,150,243</u>	
流動負債合計			<u>219,155,314</u>
負債合計			227,719,855

(単位：円)

[資本の部]

5	資	本	金										
(1)	自	己	資	本	金								
	ア	固	有	資	本	金	40,447,373						
	イ	組	入	資	本	金	<u>370,973,136</u>						
	ウ	出	資	金			177,000,000						
		自	己	資	本	金	合	計	588,420,509				
(2)	借	入	資	本	金								
	ア	企	業	債	金		<u>2,563,195,258</u>						
		借	入	資	本	金	合	計	<u>2,563,195,258</u>				
		資	本	金	合	計			3,151,615,767				
6	剰	余	金										
(1)	資	本	剰	余	金								
	ア	受	贈	財	産	評	価	額	223,316,336				
	イ	寄	付	金			28,929,910						
	ウ	工	事	負	担	金	593,810,216						
	エ	そ	の	他	資	本	剰	余	金	<u>289,190,898</u>			
		資	本	剰	余	金	合	計	1,135,247,360				
(2)	利	益	剰	余	金								
	ア	減	債	積	立	金	425,635,000						
	イ	当	年	度	未	処	分	利	益	剰	余	金	<u>376,970,503</u>
		利	益	剰	余	金	合	計	<u>802,605,503</u>				
		剰	余	金	合	計			<u>1,937,852,863</u>				
		資	本	合	計				<u>5,089,468,630</u>				
		負	債	資	本	合	計		<u><u>5,317,188,485</u></u>				

6 平成21年度鹿嶋市大野区域水道事業報告書

大野区域の水道事業は、北浦湖畔沿いの集落を対象として、中地区・居合地区・津賀地区・武井志崎地区の4箇所の旧簡易水道事業により経営を行ってきた。また旧簡易水道は、創設年度が比較的早く、昭和44年～昭和55年の間に認可をうけ事業を推進してきた。4事業の現況は、地域人口約17,586人に対し、給水区域内人口が約5,250人であり約12,336人が給水区域外に居住し、この約12,336人の生活用水は全て自家用井戸に依存していた。

その後、茨城県は上水道の普及率が全国最下位であること、県内での生活環境の変化等による水質の悪化が生じてきたことなどから、圏内を6ブロックに分け、用水供給事業を開始した。

そして、平成10年3月19日に、給水区域を大野区域全域、計画給水人口18,300人、一日最大給水量5,240 m^3 とし鹿嶋市大野区域水道事業の認可を受け、平成10年度より事業を開始するとともに施設整備を進め、平成15年6月から大野配水場の給水を開始した。

本年度の給水状況は、給水人口7,544人、普及率37.1%、総給水量550,668 m^3 一日最大給水量2,080 m^3 である。

経営収支は、収入219,729千円に対して、支出237,466千円で、差し引き17,738千円の損失である。収入のうち料金収入は、129,461千円で、料金以外の収入は、他会計補助金等90,268千円である。支出は、原水及び浄水費70,216千円、配水及び給水費24,558千円、総係費24,021千円、減価償却費73,539千円、資産減耗費100千円及び支払利息44,138千円、雑支出894千円である。

次に資本的収支における収入は、企業債90,000千円、国庫補助金等138,848千円合計228,848千円である。

支出は、299,222千円で、建設改良費235,507千円、償還金63,715千円であり、建設改良費の主なるものは配水管布設工事費の233,294千円である。

なお、収支差引不足額70,374千円は、過年度損益勘定留保資金及び当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんした。

財 務 諸 表

(1) 平成21年度鹿嶋市大野区域水道事業損益計算書 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位：円)

1	営 業 収 益			
	(1) 給 水 収 益	129,461,135		
	(2) 受託工事収益	11,610,000		
	(3) その他営業収益	<u>2,476,200</u>	143,547,335	
2	営 業 費 用			
	(1) 原水及び浄水費	70,216,595		
	(2) 配水及び給水費	24,558,248		
	(3) 総 係 費	24,021,140		
	(4) 減 価 償 却 費	73,538,791		
	(5) 資 産 減 耗 費	100,000		
	(6) 雑 支 出	<u>0</u>	<u>192,434,774</u>	
	営 業 損 失			48,887,439
3	営 業 外 収 益			
	(1) 受取利息及び配当金	41,500		
	(2) 他 会 計 補 助 金	76,000,000		
	(3) 雑 収 益	<u>140,281</u>	76,181,781	
4	営 業 外 費 用			
	(1) 支 払 利 息	44,137,998		
	(2) 雑 支 出	<u>893,856</u>	<u>45,031,854</u>	<u>31,149,927</u>
	経 常 損 失			<u>17,737,512</u>
	当 年 度 純 損 失			<u>17,737,512</u>
	前年度繰越利益剰余金			<u>2,349,859</u>
	当年度未処理欠損金			<u>15,387,653</u>

(2) 平成21年度鹿嶋市大野区域水道事業貸借対照表
 (平成22年3月31日現在)
 [資産の部]

(単位：円)

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア 土地		16,004,662	
イ 建物	138,182,178		
建物減価償却累計額	<u>15,872,304</u>	122,309,874	
ウ 構築物	3,790,412,907		
構築物減価償却累計額	<u>428,487,320</u>	3,361,925,587	
エ 機械及び装置	396,878,925		
機械及び装置減価償却累計額	<u>112,902,887</u>	283,976,038	
オ 車両及び運搬具	1,383,280		
車両減価償却累計額	<u>0</u>	1,383,280	
カ 工具器具及び備品	0		
工具器具及び備品減価償却累計額	<u>0</u>	<u>0</u>	
有形固定資産合計			3,785,599,441
(2) 無形固定資産			
ア 電話加入権		<u>120,000</u>	
無形固定資産合計			<u>120,000</u>
固定資産合計			<u>3,785,719,441</u>

2 流動資産

(1) 現金・預金

ア 現金	20,000		
イ 預金	<u>229,692,024</u>	229,712,024	

(2) 未収金

ア 営業未収金	<u>10,463,656</u>		
イ 営業外未収金	<u>82,126,228</u>	92,589,884	

(3) 貯蔵品

		441,845	
--	--	---------	--

流動資産合計 322,743,753

資産合計 4,108,463,194

[負債の部]

3 固定負債

(1) その他固定負債 0

固定負債合計 0

(単位：円)

4 流動負債

(1) 未払金	87,271,193	
(2) その他流動負債	<u>666,750</u>	
流動負債合計		<u>87,937,943</u>
負債合計		<u>87,937,943</u>

[資本の部]

5 資本金

(1) 自己資本金		
ア 固有資本金	0	
イ 組入資本金	0	
ウ 出資金	<u>260,000,000</u>	
自己資本金合計		260,000,000
(2) 借入資本金		
ア 企業債	<u>2,291,612,140</u>	
借入資本金合計		<u>2,291,612,140</u>
資本金合計		2,551,612,140

6 剰余金

(1) 資本剰余金		
ア 再評価積立金	0	
イ 受贈財産評価額	8,710,921	
ウ 工事負担金	54,963,908	
エ その他資本剰余金	<u>1,420,625,935</u>	
資本剰余金合計		1,484,300,764
(2) 利益剰余金		
ア 減債積立金	0	
イ 当年度未処理欠損金	<u>15,387,653</u>	
利益剰余金合計		<u>△ 15,387,653</u>
剰余金合計		<u>1,499,688,417</u>
資本合計		<u>4,051,300,557</u>
負債資本合計		<u>4,139,238,500</u>